

子どもと大人の「第三の居場所」を考えてみよう

皆さんには、悩みや不安を抱えたときに相談できる相手や、安心できる居場所がありますか。場合によっては、家庭や学校、職場以外の居場所が「心のよりどころ」となるかもしれません。

今号では、そんな「第三の居場所」をつくる4団体と個人が意見を交わした座談会について、ゆっパル編集委員が取材しましたので紹介します。

ゆっパルの由来

この地方の方言で「結ぶ」という意味の「ゆっばる」と、英語で「仲間・友だち」という意味の「パル」からできています。『一人一人の思いが結びついて仲間をつくる』という願いが込められています。

十和田市男女共同参画市民情報誌「ゆっパル」編集委員によるコーナーです。

8/3開催「第三の居場所」座談会@ハピたのかふぁ

座談会メンバー



NPO 法人十和田 NPO 子どもセンター・ハピたの
代表理事 中沢 洋子 さん



トーキーコーヒー十和田
主宰 鳥谷部 麻美 さん



十和田子ども食堂 実行委員会
実行委員長 水尻 和幸 さん



Happy Children
新藤 幸子 さん (右)
新藤 潤一 さん (左)



国分 幸子 さん

活動しながら、私たちが感じていること

中 沢 仲よし会やカフェを通じて相談してくれた人と接すると、必ずしも私たちに専門的な意見を求めている訳ではなく、「誰かに話したい」「聞いてほしい」と思っているのだなと感じます。自分の中の気持ちを出し切るまでは、何も解決しないですから、私たちは何時間になっても相手の話を聞きます。出し切ると、自分自身の気持ちが整理できて、それだけで解決につながることもありますよ。

鳥谷部 イベントに参加する人は、不登校の子ども、通学している子ども、親子などさまざまです。シニア世代の人がお手伝いに来ることもあるし、「大人と話がしたい」と大人だけの参加もあり、イベントが「誰でも来られる場所」になってきていると感じます。参加する中で少しずつ、学校の話や子育ての話、悩みについて話してくれます。こんな拠点がたくさんあればいいのかなと思います。

水 尻 子ども食堂の開催のほかに、見守りや支援活動もしていますが、貧困以外にも問題を抱えている家庭があるように感じます。私たち以外の支援につなげるためには、相手に突然支援を申し出るのではなく、子ども食堂で顔を合わせたり、SNSでコミュニケーションを取ったりして、

少しずつ相手に信頼してもらうことが必要だと思っています。

新藤 (幸・潤)

自宅や、学校の校庭を借りて開いているプレーパークにさまざまな子どもたちが遊びに来ます。自由にやりたい事をしながら過ごしていく中で、好きな事、学校での事、家庭の事、時にはちょっと困っている事など、いろいろな話をしてくれます。子どもたちは、ただ話を聞いてほしいのだと思います。自由に過ごす事ができて、どんな自分も、丸ごと受け入れてもらえる、そういう安心できる「居場所」になりたいと思っています。今後は、町内会や地域で協力しながら「ここに来れば安心して過ごせるよ」という人や、場所づくりをしていきたいですね。

国 分

不登校で悩んでいる子どもは、最初の相談が失敗してしまうと「もう行かない」となってしまうがちです。偶然見つけた団体が、自分の悩みに合うかどうか分からないし…。市内で活動している個人や団体は他にもあると思いますが、私たちが把握しきれていませんよね。どんな相談先や居場所があるのか、悩んでいる人へ伝えられる「活動している人同士のつながり」も必要なのではないのでしょうか。

これからの活動で考えること

中 沢 私たちの活動を相手に説明することも大切ですね。お互いに信頼関係を築いて、子どもや大人の不安をくみ取って、子どものこと、家庭のこと、みんなで一緒に育てていきたいですね。

水 尻 自分が活動するときに、家族に負担がかかってしまうこともあります。皆さんの活動もそうですが、無理なく自分ができる範囲で続けていくことが大事だと思います。

新藤 (幸・潤) 子どもと大人を取り巻く状況は、地域によっても違うと思います。地域でいろいろな人が、それぞれの形で活動していければ良いですね。



相談する、参加する、一緒に活動する…「第三の居場所」との関わり方は人それぞれです。気になる活動があれば、ぜひお問い合わせください。

NPO 法人十和田 NPO 子どもセンター・ハピたの

市内の仲よし会の運営や、コミュニティカフェを活用した子育て相談などを行っています。

詳しくはホームページをご覧ください。

☎ 23-0853

メール info@hapitano.jp

ホームページはこちら▶



トーキーコーヒー十和田

遊びやものづくりを通して学校教育について考えながら子どもと大人のための居場所づくりをしています。

詳しくはInstagramをご覧ください。

☎ 090-5849-6822

Instagramはこちら▶



十和田子ども食堂実行委員会

無料で食事を提供する「子ども食堂」の定期的な開催や、困窮世帯への食材配布支援などを行っています。

詳しくはブログをご覧ください。

☎ 27-1815

メール km_4360@hotmail.com

ブログはこちら▶



Happy Children

放課後や休日の子どものための居場所づくりのため、主にちとせ小学校区で活動しています。

詳しくはフェイスブックをご覧ください。

☎ 090-5597-5682

メール sa_shindo@yahoo.co.jp

フェイスブックはこちら▶



国分 幸子

不登校で悩む子どもや保護者へのカウンセリングを通してその人にとっての解決方法を一緒に考えます。

電話・LINE・対面相談などで対応しています。

☎ 090-5180-0415

LINEはこちら▶



◆取材した編集委員が感じたこと

「子ども愛」「十和田愛」「地域愛」を持って活動されていて、素晴らしいなと思いました。「もっと活動できるようになるには?」「活動を広めていくには?」「必要な人へ情報を届けやすくするには?」「何が自分にできるのか?」など、居場所づくりについて考えを深めるきっかけになりました。

また、自宅以外の「居場所」があることはありがたいなと思います。子どもと大人が共に自分らしく生き、輝く人生であってほしいし、お互いに満足感のある毎日を過ごしていきたいですね。

◆◆編集後記

- 困ったとき、悩んだとき、頼れる先が複数存在して下さるありがたさを感じることができました。(O)
- 居場所って、互いの心を休めるために忙しい現代人には必要不可欠だと思います。ゆったりできる空間はありがたい。(K)
- 子どもたちが、今を幸せに生きて欲しい。それに尽きます。そのために、寄り添える自分でありたいと思います。(S)
- このような活動がたくさんの人の力になってほしいと思うとともに、少しでも力になれることがあれば、ぜひ取り組みに参加したいと思いました。(M)

ホットな一句



編集 十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員

岡崎 大輔、木村 奈生美、新藤 幸子、村井 純麗

発行 総務課 広報男女参画係 ☎51-6702